



「水と衛生」グローバル補助金 授与のガイドライン

ロータリーは大きなニーズのある6つの分野に重点をおき、国際関係を培いながら、人びとの暮らしを支援し、より良い世界を築いています。ロータリー財団が授与する[グローバル補助金](#)を通じて、クラブと地区は、各分野において入念に計画された、大きな影響をもたらす活動に参加します。

グローバル補助金の活動はすべて重点分野の目標に沿ったものである必要があります。「水と衛生」分野は、以下を目標としています。

1. 地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善。
2. 持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域社会が自ら行っていくための能力向上。
3. 安全な水と衛生の重要性について、地域社会の人々の認識を高めるためのプログラム支援。
4. 水と衛生に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金の支援。

本資料は、グローバル補助金申請時の指針としてお役立てください。持続可能なプロジェクトの立案方法、特定の種類のプロジェクトに必要な情報、参考資料や情報を入手する方法などを説明しています。

A. 持続可能性の要素

「持続可能性」の定義は組織によって異なりますが、ロータリーでは「補助金資金がすべて使用された後にも、受益者が自力で地元のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」と定義しています。以下の項目をよく読み、プロジェクトが長期的に持続可能なものかどうかを判断することで、受領申請が承認される可能性が高まります。

1. 地域社会の調査

地域社会の調査によって、最も支援を必要としている分野と、変化をもたらすためにロータリアンが果たせる役割を特定します。プロジェクトの提唱者（多くは他団体と協力）は、申請書を提出する前に地域社会の調査を実施する必要があります。調査によって地域社会の強みと弱みが明らかになり、解決策を考える際に役立てることができます。すでに調査を実施した場合は、関連するデータを活用してプロジェクトを立案しましょう。

地域社会の調査を通じて以下を行います。

- 性別、年齢、職業などが異なる地域住民の多様な意見を集める。
- 地域住民に、最も重要度が高いと思うニーズを挙げてもらう。
- 提案されたプロジェクトにどのように貢献できるかを、地域社会の参加者に尋ねる。
- 地域住民と協力して、長期目標およびプロジェクトで期待される成果を決める。

地域社会の調査結果を補助金申請書に含める必要があります。調査結果には以下の内容が必要です。

- プロジェクトの活動を実施するために地域社会のリソースをどのように利用するか
- プロジェクトは、地域社会の人のびとが特定したニーズをどのように満たすか
- 長期目標またはプロジェクトの成果とその達成方法（例えば「研修と認知度向上キャンペーンを通じて」）
- 補助金授与の終了後も地域社会でプロジェクトをどのように持続させるか

水と衛生プロジェクトのための地域社会の調査は以下の点を含むべきです。

- 誰が調査を実施し、どの手法を用いるか。
- 関係者リスト、および関係者が調査にどのように関与または参加するか。
- 地域社会、学校、診療所の認識されているニーズを示す結果。解決策の特定と実施に使用可能な概念、行動、資産を含む。
- 地域社会に以前から存在する水と衛生のインフラ。
- 既存の水と衛生の研修、衛生教育、公衆キャンペーン、習慣の変化を促すコミュニケーション。
- 地域社会が変化を期待する健康に関する行動。
- 既存の管理統制システムと、それが機能しているか否か。

2. 物資とテクノロジー

地域社会の調査は、地域社会が技術、財務、管理について理解した上で正しいテクノロジー機材を選択できるようにするためのものです。また、テクノロジー機材および資材の計画、建設、運用、管理に関与することに対する地域住民の意欲を引き出し、奉仕活動を管理することへの同意と実行を促します。物資やテクノロジー機材はできるだけ現地で購入し、スペア部品を地域社会と奉仕活動提供者が現地で入手できることを確認しておきましょう。

補助金申請書で以下の点を説明する必要があります。

- グローバル補助金の支援により建設・導入されるすべてのインフラおよびテクノロジー機材の説明。
- 他の選択肢に対して当該機材を選択した理由。現場での有効性だけでなく、社会的経済的環境への適合性を含む。
- 地域社会内で技術スキルと知識を向上させる研修計画。具体的には以下を明記。
 - 研修の実施者
 - 研修の受講者
 - 受講者が習得するスキルと知識
 - 地域社会の技術者が、高度な技術支援のため相談できるネットワークまたは個人
- 設備、資材、スペア部分を現地で購入できること。現地購入できない場合は、その理由。
- 機材を盗難や破壊行為から保護する方法。

- 運用管理計画が地域社会の意見を取り入れて作成されたことを確認し、その計画の責任を負うのはどの役職の人か。すべてのシステムに関して定期的に発生する一般的な運用管理の概要と責任者（運用管理テンプレートに記入して提出することも可能）。

3. 資金計画

適切な資金計画では、ロータリアンは地域社会、政府、民間団体と連携して、水と衛生プログラムおよびインフラの設置と管理に関するコストを特定することが求められます。堅実な計画は、水と衛生のサービスが数世代にわたって維持できるようにコストの大半を賄える資金調達メカニズムを特定するものです。申請書にプロジェクトの予算を添えるだけでなく、プロジェクト実施後5年間の資金計画も含めるべきです。

資金計画には以下の内容を記載しなければなりません。

- 5年計画で提案されたすべての水と衛生システムに関する年間コストの定量化。計画では以下のコストのうち一つ以上を検討します。
 - 運用と管理
 - 消耗品
 - 清掃
 - 教育と推進
 - 人件費
- 今後3～5年間の運用管理と交換の年間コストを支える資金調達メカニズムの特定と定量化。資金源には、各家庭の使用料、政府および公的資金、民間部門と非政府組織の資金、または収入創出活動などが含まれます。
- 資金調達メカニズムが合計年間コストに満たない場合、計画におけるそのギャップを埋めるために将来の資金調達を確保する計画を共有します。
- 財務的責任または提供するサービスに関する覚書（MOU）または合意書を得る。
- 収入創出または利益追求モデルの事業計画を立案する。事業計画には、製品需要の市場分析、3～5年の年間売上予測、単位当たりコスト、対象消費者、今後3～5年の予想運用管理コスト、3～5年の収益予測を含めなければなりません。

4. 研修と教育

衛生教育と行動変容コミュニケーション

行動変容のための衛生教育の提供は、グローバル補助金に申請するすべての「水と衛生」プロジェクトの必須要素です。行動変容は教育だけでは起こりません。講義、ポスター、パンフレットのみを使って行動変容を目指す衛生プログラムは最低限の効果しか望めません。地域社会に問題を認識してもらい、行動を変えるという自覚を持ってもらうには、地域社会の参加者を関与させる指導方法を用いるプログラムにする必要があります。

ロータリアンは、研修、衛生教育、行動変容コミュニケーションのプログラムを立案して実施するために、保健および水と衛生を担当する地方官庁または非政府組織からの専門知識を求めることが推奨されます。可能であれば、国内研修と教育リソースを使用すべきです。

衛生教育と行動変容コミュニケーションの計画には以下が含まれるべきです。

- 行動変容の目標を特定する。
- 以下の研修または教育目的を特定する。
 - 地域社会では、対象の地域社会と集団において衛生的な行動を育み、あるいは肯定することを目的とした研修と教育プログラムとすべきです。
 - 学校では、研修は衛生教育を実施し、生徒に健康的な習慣を身に付けさせることができるように教師のスキルを構築することを目的とすべきです。
 - 医療施設では、研修は医療従事者および経営者の衛生的行動と知識の改善を目的とすべきです。
- 衛生教育または行動変容コミュニケーションプログラムが、調査で明らかになった特定のニーズにどのように対応するかを説明する。
- 地域社会の研修および教育プログラムを強化または改善する。
- カリキュラムまたは研修のテーマと使用される手法のリストを提示する。
- 研修者の名前を挙げ、行動変容コミュニケーションにおける研修者の資格と経験を証明する。
- 研修または教育を受ける対象参加者を特定する。
- 研修と教育プログラムの回数と期間（再研修を含む）を説明する。
- 新しい知識と行動が地元の習慣の一部として定着し、補助金の期間終了後も継続されるような教育活動とキャンペーンを説明する。
- すべての活動案を支援する予算を含める。プロジェクトの研修と教育が外部資金源によって支援される場合、その団体名と寄付金額を示す。覚書（MOU）を締結して提供されるサービスを確認する。
- 5年間の財務計画に含める。
- 研修および継続的教育プログラムのために専門知識、労働力、リソース、資金を提供する関係者からの基本同意書または覚書（MOU）を含める。

サービス提供者とプロジェクト技術担当者に対する研修

サービス提供者とプロジェクト技術担当者に対する研修は、グローバル補助金に申請するすべてのプロジェクトにおいて必須要素です。サービス提供者と技術担当者の研修および指導計画には以下の内容を含むべきです。

- 研修または教育目的を特定する。
- 研修課題を特定する。
- 研修スケジュールを共有する（再研修を含む）。
- 研修を受ける対象者を特定する。
- 研修を受けた技術者が必要に応じて高度な支援を受ける方法を説明する。
- すべての活動案を支援する予算を含める。プロジェクトの研修と教育が外部資金源によってサポートされる場合、その団体名と寄付金額を示す。覚書（MOU）を締結して提供されるサービ

スを確保する。

- 3～5年間の財務計画の一部となる。
- 研修および継続的教育プログラムのために専門知識、労働力、リソース、資金を提供する関係者からの基本同意書または覚書（MOU）を含める。

5. モニタリングと評価

中核となる水と衛生の測定値の定期的な監視と報告は、すべての水と衛生プロジェクトにおいて不可欠な活動です。定期的に監督することで、基本的ニーズが満たされ、水と衛生プログラムが目標達成のために順調に進んでいることを確認できます。プロジェクトに最も適した以下の測定項目のうち、少なくとも一つを選択してください。

- 直接受益者の合計数
- 改善された飲み水の水源を利用できる人数
- 改善された衛生施設を利用できる人数
- 家庭の水処理を通して消毒した水を利用できる人数
- 研修を受けた人数
- 有効な統制管理委員会のある地域社会数
- 税または使用料構造を使用する地域社会数

さらに、すべてのシステムは定期的に監視して、機能を確保し適切な運用管理を確実に行うべきです。また、導入された水と衛生システムの監視担当者を指定してください。

6. 統括管理

水と衛生の統括管理とは、水と衛生のリソースの使用と管理に影響する政治、社会、経済、運営システムを指します。水と衛生の委員会は、地域社会、学校、保健施設において持続可能性を確保するための統括管理が欠かせません。

一般に、委員会の主な役割は、地域社会の水と衛生システムの管理です。日常の運用を監督し、地域社会の方針を設定します。この方針には、将来のメンテナンス費用を賄うために使用量を請求するののか、請求額はいくりにするのかなどが含まれます。委員会は、研修終了後も地域社会で健康と衛生教育を推進し続けることができます。委員会では女性が大きな割合を占めるべきです。

ロータリアンは、地域社会、学校、医療施設の既存の統括管理システムと委員会を特定し、委員会が特に水と衛生サービスの監督を担当するかどうかを決定するよう推奨されます。新たに設置した水と衛生委員会は、自力で管理できるようになるまで研修と支援を受けるべきです。

地域社会の水と衛生委員会が最も効力を発揮するのは、政府またはその他の支援団体と連携している場合です。こうした団体は、運営、財務、技術面での支援を提供して委員会の効果を高めることができます。委員会は、水と衛生に関する政府の基準と指針にも従うべきです。

グローバル補助金は、水と衛生に関する決定を行うために設置された統括管理システムも提示しなければなりません。申請書には以下の書類を含めてください。

- すべての水と衛生システムの管理について最終的責任を負う統括機関の機能と構成

- 統括機関における女性の割合と役割
- 委員会が完全に機能し効果のある統括機関となるためにプロジェクトがどのように支援するのかについての説明
- 申請書で提案された建設、研修、教育活動に対する承認と支援を示した水と衛生省（または政府の該当省庁か規制機関）の文書。この文書には、すべての活動が政府の取り組み、基準、指針に準ずることも示すべきです。

B. プロジェクトの種類

グローバル補助金は、一般に以下の種類の「水と衛生」プロジェクトに授与されます。それぞれの種類について、受領資格の要件と申請書に添付が必要な資料を確認してください。持続可能性の中核基準のほかにも、プロジェクトの各種類について下記の基準も考慮してください。

1. 給水

重力利用供給システム、配管と貯水タンク

- システムを修理または再建する場合、なぜシステムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのかという原因や根本的理由を特定します（たとえば、行き届かない管理、資金不足、技術支援の不足など）。プロジェクトでどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。
- 私有地または公共施設を通過する給水システムに関する必要な許可のため、土地所有者または政府と正式な契約を締結して契約書を提出します。
- 申請書の審査に役立つ地図または技術文書を提出します。

井戸

- システムを修理または再建する場合、なぜシステムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因と根本的理由を特定します（たとえば、行き届かない管理、資金不足、技術支援の不足など）。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。
- 目的の掘削地について水文地質調査が実施されたことを確認します。水文地質調査は、グローバル補助金申請書の提出前に実施することも、グローバル補助金の予算に組み込むこともできます。
- 調査結果を用いて以下を確認します。
 - 地下水量が、現在の利用者および将来の人口増加によって想定される需要量を十分に満たすことができる。
 - 水質が国の飲料水の基準とガイドラインを満たしている。水質が劣る場合は是正計画を提示します。これによりプロジェクトの範囲と予算の変更が必要になる場合があります。
- 水文地質調査の実施主体または調査実施のため契約した企業を明記します。水文地質調査は、水文学者、地質学者、水文技術者など、資格ある人物または団体によって実施されなければなりません。

- 水または土地の権利について、土地所有者または政府と正式な同意書を締結して提出します。
- 申請書で提案された建設、研修、教育活動に対する承認と支援を示した水と衛生省（または政府の該当省庁か規制機関）の文書を提出します。この文書には、すべての活動が政府の取り組み、基準、指針に準ずることも示すべきです。
- 申請書の審査に役立つシステムマップまたは技術文書を提出します。
- 水質検査が実施され、国の飲料水基準に適合していることを確認します。生物学的または化学的汚染があるシステムでは、処理または浄水工程を提案して予算を組みます。

雨水貯留：ダム、堤防、貯水池

ダム、堤防、貯水池は大規模な雨水貯留システムとして河川の氾濫による出水を灌漑、地下水補充、洪水制御に流用します。

- 過去5年間の平均月間降水量の記録を参照します。降水量の多い時期と少ない時期を特定し、この情報を活用して雨水貯留が一次または二次給水システムとして使用可能かどうかを判断します。
- 環境または工学の素養のある地元の団体または個人の専門知識がダム、堤防、貯水池の建設に採用されていることを確認します。
- 河道の利用権について必要な合意を締結し、アップロードします。土地の権利および河道に関する現地の法律を順守します。
- 川岸に私有地が存在する場合は、ダムへの出入りを可能にするため土地所有者と法的同意を締結します。
- 水と衛生、環境または該当する政府省庁からの建設、研修、教育活動の保証書または支援証明書を提出します。提案した活動が、国の水と衛生の基準および指針に準拠していることを確認します。
- 専門家（地質学者または環境エンジニアなど）に相談し、施設には潜在的な洪水の危険性を生むことなく貯水能力があることを確認します。
- 提案したシステムを通じて保持される水量と、季節ごとの給水量に応じて引き込む水量の予測量を提示します。
- システムを修理または再建する場合、なぜシステムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します（たとえば、行き届かない管理、資金不足、技術支援の不足など）。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。
- 申請書の審査に役立つシステムマップまたは技術文書を提出します。
- 大規模ダム、堤防システム、または貯水池に環境調査を実施したことを確認します。
- 雨水貯留を飲料水に利用する場合、水質検査が実施され、国の飲料水基準に適合していることを確認します。生物学的または化学的汚染があるシステムでは処理または浄水工程を提案して予算を組みます。

2. 水処理/浄水

適切に利用されメンテナンスが行われた場合、水のろ過および処理システムはほとんどの上水道を飲ん

でも安全な水にすることができます。ただし、汚れた貯水容器や給水システムの利用によってろ過した水が再度汚染されないことが条件です。

適切な設計のシステムは給水を水源で、使用地点で（たとえば、地域の配管、家庭、学校、診療所）、またはその両方で処理またはろ過します。

使用地および地域のろ過または浄水システム

- 使用地または地域のろ過設備が導入されるか確認します。家庭でのろ過を選択する場合、フィルターが現地で製造されるのか、輸入されるのかを明示します。
- エンドユーザーが交換用フィルターを手頃な価格で入手する方法を説明します。
- このグローバル補助金の支援を通じて安全な貯水容器を家庭や施設に配布するのか、あるいはエンドユーザーが購入するのかを説明します。
- 水質検査が実施され、国の飲料水基準に適合していることを確認します。
- 申請書の審査に役立つシステムマップまたは技術文書を提出します。
- システムを修理または再建する場合、なぜシステムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのかという原因や根本的理由を特定します（たとえば、行き届かない管理、資金不足、技術支援の不足など）。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。

逆浸透装置

- システムの動力源を説明し、システムが効果的に稼働できるように十分な圧力を常に提供できるのかを説明します。
- このグローバル補助金の支援を通じて安全な貯水容器を家庭や施設に配布するのか、あるいはエンドユーザーが購入するのかを説明します。
- このシステムから生じる廃棄物をどのように管理し、誰が責任を負うのかを説明します。
- 水質検査が実施され、国の飲料水基準に適合していることを確認します。
- 申請書の審査に役立つシステムマップまたは技術文書を提出します。
- システムを修理または再建する場合、なぜシステムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します（たとえば、行き届かない管理、資金不足、技術支援の不足など）。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。

3. 灌漑

- 灌漑に利用する水源を特定します。
- 灌漑システムの建設、運用、管理、およびプロジェクトに関連するすべての研修と教育への参加を誓約する基本合意書を農家と締結します。
- プロジェクトの目的は農家に対する灌漑技術、農業手法、水の保全活動に関する研修と教育であることを説明します。
- 灌漑システムの一部が共同所有（水利用者団体など）の場合、農家の統括管理構造について説

明します。

- システムを修理または再建する場合、なぜシステムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します（たとえば、行き届かない管理、資金不足、技術支援の不足など）。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。
- 提案した灌漑システムにおいて、農家の先祖伝来の知識や伝統的な経験と生産能力がどのように考慮されているかを説明します。
- 地域社会の調査で入手した基準収入または収穫高データをまとめます。
- 農家の経済的成功と農業の成果を測定する方法について説明します。
- 申請書の審査に役立つシステムマップまたは技術文書を提出します。

4. 流域管理

流域管理は、地理的に定められた流域内で水の品質と量を守ることを目的とした手法です。このようなプロジェクトで通常実施される戦略的介入には、地下水の涵養、森林再生、飲料水の利用の改善、水源の保護、浸食防止、治水などが含まれますが、これらに限定されません。流域管理プロジェクトの複雑さから、ロータリーのプロジェクトの計画と実施には該当の政府機関と流域開発組織が関与しなければなりません。

- 流域管理プロジェクト案を通じて対処する主要な水質または給水問題を特定します。
- 介入案と、これらの介入が政府または同等の統括団体のより広範囲な流域管理活動にどのように取り入れられているかを説明します。
- プロジェクトが実施される流域の境界を示す局所地図を提供します。地図には、提案された介入が実施される重要エリアを強調表示すべきです。
- 現在および5年後の対象人数を特定します。
- 5年間にプロジェクトが提供する1日の平均およびピーク需要（リットル単位）で提示します。
- 提案した介入を通じて対処する対象水源を特定します。
- 特定の水源から流用または取水する計画がある場合は、許可を取得していることを証明します。
- 森林再生計画を大規模な河岸再生活動と一致させます。流域内の特定エリアを対象とする理由を説明します。

5. 学校の水と衛生（WINS）

- 対象校リストと、1校当たりの生徒総数を提示します。
- 各校に計画されている介入のリストを提示します。
- 各校の生徒1人あたりに提供するトイレと給水システムの総数が、国の基準と指針に準じていることを確認します。この比率が合わない場合は、基準順守のための計画案を提示します。
- 小学校には児童向けの衛生および給水施設を設置していることを確認します。
- 申請書で提案された建設、研修、教育活動に対する承認と支援を示した教育省（または政府の

該当省庁)の文書を提出します。この文書には、すべての活動が政府の取り組み、基準、指針に準ずることも示すべきです。

- なぜシステムが機能しなくなり、適切なサービスを提供できなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定し、プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。
- 衛生研修と教育が教員と学校管理者を対象としていることを確認します。指導スキルと国のカリキュラムの認知度の向上、衛生教育のカリキュラム開発を目的とすべきです。
- 以下の国または国際的基準を満たす男女別トイレを提供します。
 - 女子生徒25名につき1便器
 - 女性職員1名につき1便器
 - 男性職員1名につき1便器
 - 男子生徒50名につき大便器1基と小便器1基
 - 理想的には、障害児が使用可能な便器1基、手洗い場、水飲み場があるべきです。

6. 学校での月経衛生管理 (MHM)

学校での月経衛生管理に全面的に対応するため、ロータリアンは単独の設備の設置や生理用ナプキンの配布だけに留まらない総合的なプロジェクトを設計することが奨励されています。MHMグローバル補助金プロジェクトは、(1)少女と女性に対する社会的支援を提供する、(2)少女が月経を安全に管理できるように知識とスキルを伸ばす、(3)設備とサービスを提供する、(4)生理用品を利用しやすくするための活動を定義しなければなりません。すべての活動は、より広範囲なWASH in Schoolsの取り組み、ガイドライン、方針に準ずるべきです。

- 思春期前の青少年向け、月経衛生に関する知識、姿勢、考え方を特定します。
- 学校や地域社会で月経衛生管理用品をどの程度入手し利用できるのかを説明し、市場のギャップがあれば指摘します。
- 提案された介入が文化的に適切であり、月経に関するタブーにどのように対応しているかを説明します。
- 生理用ナプキンや洗浄用品などの消耗品が、ゆくゆくは全生徒に行き渡るようにする方法を説明します。
- 生理用ナプキンの廃棄物処分計画と、この計画に関するコストを学校がどのように対処するのかを説明します。
- 申請書で提案された建設、研修、教育活動に対する承認と支援を示した教育省（または政府の該当省庁）の文書を提出する。この文書には、すべての活動が政府の取り組み、基準、指針に準ずることも示すべきです。
- なぜ水と衛生システムが機能しなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。

7. 衛生 (トイレ、排水管理、固形廃棄物管理)

トイレ

- 実施が提案されているトイレのタイプ（注水型水洗、換気式落とし便所、水洗、共同、戸別）を特定し、共用かどうかを明記します。
- 提案したシステムが適切に機能するために必要とされる動力源を特定し、安定した利用が可能かどうかを明記します。
- 提案された衛生システムについて廃棄物の処理および管理方法を説明します。
- 落とし便所は飲料水の水源から 30m 以上離して設置されることを確認します。
- 提案されるトイレに設置される手洗い施設を説明します。
- なぜシステムが機能しなくなり、適切なサービスを提供できなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。
- 申請書の審査に役立つ地図または技術文書を提出します。

公衆トイレ

- トイレ設備の常勤清掃員と管理者を明記し、給与支払いと研修の方法を説明します。
- 常勤のメンテナンス職員を明記し、給与支払いと研修の方法を説明します。
- 市民が施設を使用した後で手を洗うために利用できる手段を説明します。
- 石けんや肛門洗浄用品などの消耗品を常備する方法を説明します。
- 使用する水源を明記します。
- 以下の概要を示した3～5年間の事業計画を提示します。(1) 一般市民がサービス使用料を支払う意思または能力、(2) 運用、修理、交換に関する年間コスト、(3) 年間人件費、(4) 衛生教育とキャンペーンに関する年間コスト、(5) 助成金その他の収入源
- 公衆トイレ設備の所有者による、設備の管理と維持を誓約する覚書（MOU）または合意書を提出します。
- このプロジェクトの衛生教育の要素が、保健省（または同等機関）によるキャンペーンまたは教育プログラムとどのように合致するかを説明します。
- なぜシステムが機能しなくなり、適切なサービスを提供できなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。

固形廃棄物管理

- 提案した固形廃棄物管理計画でどのように有害性が最小化されるかを説明します。
- 清掃活動に参加する個人に対して行われる有害廃棄物研修を説明し、提供される安全防護具を指定します。
- 発生する固形廃棄物の予想量を定量化する管理計画と、収集、処理、廃棄のシステムを提示する

廃水処理

廃水処理プロジェクトには、(1) 排泄物、尿、便（下水）と台所および風呂の排水（中水道水）を含む家庭排水、(2) 商業施設（病院を含む）からの排水、(3) 豪雨によりあふれた雨水を含む産業排水、(4) 農業、園芸、水産養殖の排水の処理と管理が含まれます。集中および分散システムはグローバル補助金の対象になります。

- 地域の水保全または環境衛生教育プログラムまたはキャンペーンを説明します。
- なぜシステムが機能しなくなり、適切なサービスを提供できなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。

8. 医療施設の水と衛生

ロータリーによる医療施設の水と衛生プロジェクトは、病院や診療所を対象とした活動による継続的改善システムの創出を目的とすべきです。こうした活動は医療施設の既存活動に統合され、健康を基準とする目標の到達と国の認証および基準の順守を目標とすべきです。

- 地域住民、病院事務員、医療従事者、清掃およびメンテナンススタッフなどの主な関係者が、意思決定と主要な管理活動にどのように関与するかを説明します。これには、医療提供のための水と衛生の実践の推進、有害性とリスクの評価、インフラとサービスのモニタリング、検査、管理、メンテナンス、研修と広報活動の決定などが含まれます。
- 採用される機材を指定します。
- 石けんや洗浄用品などの消耗品を常備するための計画を説明します。
- 提案した介入により生じる廃棄物に対応するための廃棄物管理計画を提示します。
- 申請書で提案された建設、研修、教育活動に対する承認と支援を示した保健省（または政府の該当省庁）の文書を提出します。この文書には、すべての活動が政府の取り組み、基準、指針に準ずることも示すべきです。
- なぜシステムが機能しなくなり、適切なサービスを提供できなくなるレベルにまで劣化したのか、その原因や根本的理由を特定します。プロジェクトではどのようにこの原因に対処し、再発を防止するのかを説明します。

C. リソース

補助金申請者にとって最善のリソースの一つは[ロータリーの補助金担当職員](#)です。専門分野の知識と学歴だけでなく、効果的なプロジェクトに補助金を支給してきたロータリー財団の長年の経験を生かして、グローバル補助金プロジェクトが受領対象となるように支援します。

水と衛生分野のグローバル補助金申請を計画する上で役立つ情報には、以下のリソースもあります。

グローバル補助金に関するリソース

[グローバル補助金ガイド](#)

[ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件](#)

[重点分野の基本方針](#)

[持続可能なプロジェクトの立案6つのステップ](#)

[グローバル補助金：モニタリングと評価の計画](#)

[グローバル補助金の流れ](#)

[「学校でのWASHターゲット・チャレンジ」](#)

[「学校でのWASHターゲット・チャレンジ」ガイド](#)

WASH グローバル補助金テンプレート

WASH運用と保守テンプレート

WinSインフラ計画テンプレート

WASH研修と教育テンプレート

その他の WASH に関するリソース

[WASH コスト計算](#)

[WHO 飲料水品質のガイドライン](#)

[WASH in Schoolsに対するユニセフの国別プロフィール](#)

[低コストの状況における学校の水と衛生の基準](#)

[医療機関の水と衛生改善ツール \(WASH Fit\)](#)